

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

白子町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

千葉県長生郡白子町

3 地域再生計画の区域

千葉県長生郡白子町の全域

4 地域再生計画の目標

白子町の人口は令和2年4月1日現在で11,122人となっており、平成7年の13,238人をピークに人口は減少に転じ、継続的な人口減少が進んでいる。国立社会保障・人口問題研究所の調査結果によると、今後も減少は続き、令和7年には10,000人を割り込み、令和22年には6,174人まで減少すると推計されている。

年齢3区分別人口の推移について、生産年齢人口（15～64歳）は、平成7年の8,552人をピークに、その後は急激な減少傾向にあり、平成27年の時点で6,033人まで減少している。今後も急速な減少が続き、令和22年には2,475人と見込まれる。老年人口（65歳以上）は令和2年までは増加傾向にあり、その後は緩やかな減少傾向となることが見込まれる。また、令和12年以降は、老年人口が生産年齢人口を上回ると見込まれる。年少人口（0～14歳）は昭和55年から一貫して減少が続き、平成2年以降は老年人口を下回る数値で推移し、平成27年で1,034人となっている。今後も減少は続き、令和22年には400人を割り込むと見込まれている。

人口減少の大きな要因としては、死亡者数が出生数を上回ることによる自然減によるものである。平成7年以来、死亡数が出生数を上回る「自然減」が続いており、出生数は緩やかな減少傾向、死亡数は緩やかな増加傾向にあるため、自然減は拡大し、令和元年は175人の自然減となっている。人口のボリュームゾーンを占める高齢者の死亡者数が増加傾向にあり、未婚率が高いことが要因と考えられる。白子町の合計特殊出生率は、年によってばらつきがあるが、平成23年以降

は全国平均及び千葉県の数値を下回る水準で推移しており、平成27年と平成29年は0.92と、1.00を割り込んでいる。

社会動態について、年によって転入・転出数にばらつきがあるが、転出者が転入者を上回る「社会減」となっている。平成29年は転入・転出者数ともに前年比で大きく増えたものの、転出者数の増加が転入者数の増加より大きいため、依然として社会減の傾向が続き、令和元年は402人の社会減となっている。

これらのことから、今後も特に自然的要因による人口減少は更に拡大傾向になると予想され、町の抱える課題である。

このまま人口減少・少子高齢化が進行すると、生産年齢人口が減少し、行政基盤の弱体化、地域経済縮小（労働力不足・後継者不足など）やコミュニティの維持等、町民の生活に様々な影響を及ぼす社会課題が深刻化することが予想される。

これらの課題に対応するため、本計画期間において次の事項を基本目標に掲げ、人口の維持及び持続可能な地域社会の形成に向けた取組を進めていかなければならない。

- ・基本目標1 住んでみるなら白子町
移住・定住、新しい人の流れをつくる
- ・基本目標2 元気で働くなら白子町
基幹産業の育成等による安定した雇用を創出する
- ・基本目標3 結婚子育てするなら白子町
結婚・出産・子育ての希望を叶える
- ・基本目標4 未来をつくるなら白子町
これからの時代に合った地域をつくる

【数値目標】

5-2の①に掲げる事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	若者マイホーム 申請件数	17件/年	20件/年	基本目標1
ア	アンケート	中学生40%	中学生90%	基本目標1

	「白子町を良くするために何をすべきかを考えることがありますか？」に対し「はい」と回答した生徒の割合	小学生50%	小学生90%	
イ	新規就農者数 (50歳以下)	—	1人／年	基本目標2
イ	観光客数 [宿泊者数]	64万人／年 [29万人／年]	90万人／年 [35万人／年]	基本目標2
ウ	婚活イベントによるカップル成立組数	—	5組／年	基本目標3
ウ	一時預かり事業 (年間延人数)	500人／年	600人／年	基本目標3
エ	健幸ポイント事業参加者数	1,500名	2,000名	基本目標4
	フレイル予防事業参加者数	—	300名	
エ	ホームページ 年間閲覧者	390,000回／年	440,000回／年	基本目標4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

白子町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 住んでみるなら白子町事業

イ 元気で働くなら白子町事業

ウ 結婚子育てするなら白子町事業

エ 未来をつくるなら白子町事業

② 事業の内容

ア 住んでみるなら白子町事業

移住・定住、新しい人の流れをつくる

住環境・インフラ整備による生活環境向上施策、郷土への愛着・理解を育てる啓発・教育施策を行う事業。

【具体的な事業】

- ・住宅取得等、住環境整備事業
- ・移動支援環境整備事業
- ・子どもたちの愛着・理解を育て、つながる施策
- ・特色のある教育方式の導入・継続 等

イ 元気で働くなら白子町事業

基幹産業の育成等による安定した雇用を創出する

農業の活性化、観光振興、白子町内企業への就労支援を行う事業。

【具体的な事業】

- ・農作物ブランドを活用した新たな販路の創出
- ・新規就農者の確保
- ・観光の目玉づくり事業
- ・再訪を促す観光施策 等

ウ 結婚子育てするなら白子町

結婚・出産・子育ての希望を叶える

結婚推進支援と出産・育児支援を行う事業。

【具体的な事業】

- ・出会いの場づくり

- ・広域的な婚活情報共有化による婚活支援の推進
- ・子育てのトータルサポート体制の推進
- ・学童保育、一時預かり事業等の充実 等

エ 未来をつくるなら白子町

これからの時代に合った地域をつくる

生涯にわたり心身ともに健康で暮らせるまちづくり、地方創生の取組プロモーション（白子町ブランド化）を行う事業。

【具体的な事業】

- ・健幸ポイント（インセンティブ）事業
- ・フレイル予防事業
- ・白子町ブランド化PRの推進施策
- ・町民向け情報発信の強化施策 等

※なお、詳細は第2期白子町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

※ただし、地域再生計画「健幸まちづくりに向けた成果連動型手法（SIB）を活用した自治体連携ヘルスケアサービス構築計画」の5-2⑧に掲げる法第5条第4項第2号に関する事業の事業実施期間中は、同②に位置付けられる事業を除く。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））
4の【数値目標】に同じ。

④ 寄付金額の目安

48,000千円（2021年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価方法（PDCAサイクル）

毎年度6月に、外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取り組み方針を決定する。また、検証後速やかに町公式ホームページにより公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで